

・表示内容は指定申請時のものであり、現況と相違している場合があります。
 ・実際の幅員、延長が指定と異なる場合、復元等が必要となりますので、窓口でご相談下さい。
 ・指定区域の一部が廃止済の場合がありますので、ご注意ください。



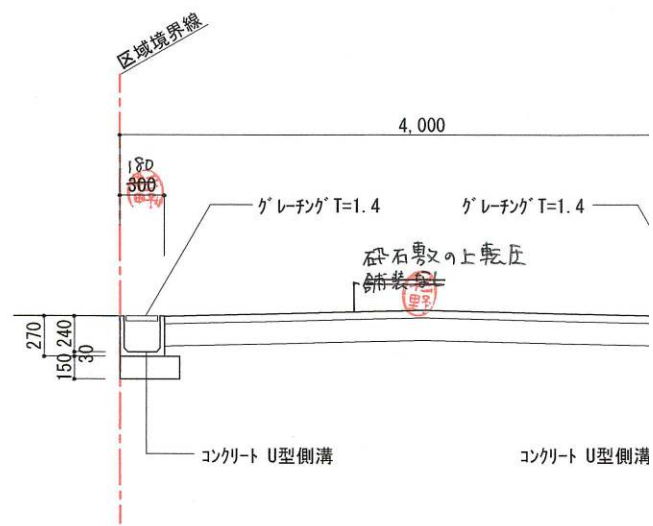
S=1:200

凡例

方位		既存道路及び既指定道路		既存建物	
申請する道路の位置		今後予定する道路		予定建築物	
標識の位置		地番界			
下水・側溝等		敷地界			

【注意】

1. 承諾書の『権利の種類』欄は土地又はその土地内の建築物もしくは工作物について該当する権利をそれぞれ記入すること。
2. 図面にも地番号を記入すること。
3. 道路図及び標準断面図を記載し方位は一致させること。
4. 図面に字限図を記載するとともに、その転写場所、転写年月日及び転写した者の住所氏名を記入し押印すること。
5. 延長は幅員別に記入すること。
6. 本用紙のみで記入されない場合は同質、同形の用紙を使用し該当する部分において権利を有する者及び図面作成者の印で本用紙と割印して追加すること。
7. 申請書(正・副)には本用紙(追加紙を含む)のコピーを添付し本用紙は別に(同時)に提出すること。



標準横断面図 (S=1:50)

・表示内容は指定申請時のものであり、現況と相違している場合があります。
 ・実際の幅員、延長が指定と異なる場合、復元等が必要となりますので、窓口でご相談下さい。
 ・指定区域の一部が廃止済の場合がありますので、ご注意ください。